

## コース5 あらくらやま 花の荒倉山

リーダー CL I.M. SL N.M.  
 実施日 令和5年4月25日(火)  
 天候 晴れ グレード A上~B  
 参加者 20名(男性 4 女性16)  
 コースポイント



牧野富太郎命名  
 如意葎  
 ニヨイスミシ

ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		6:00	西口乗車3名。途中休憩2か所(道の駅あつみで登山装備)
由良登山口	8:55	9:00	
展望台	10:20	10:40	眼下に由良漁港と青い海、とても美しい眺め
荒倉山登山口		11:06	緩やかな登り。奇形のブナ巨木。鳥海山の圧巻の眺め
荒倉山山頂	11:40	12:30	木漏れ日の山頂広場で昼食。シラネアオイが控えめに
荒倉神社	13:38	13:50	神社の狛犬は一對の馬。珍しい
展望台	14:17		
由良登山口	15:06	15:16	ペースダウンもなく予定時刻にゴール
秋葉区役所前	18:05		西口下車4名。途中休憩2か所

### 山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 快晴の山行となった。
- ・ 晴天つづきで登山道は歩きやすく快適。新緑と道端の花々に癒された。
- ・ 今年はどこも開花が早い。ここも同様、この時期見せたかった花は残り花程度。
- ・ 山頂途中、青い海に裾野を広げる鳥海山の美しさに感動。富士山に負けないね。
- ・ 山頂で土地の方から今盛りのヤマドリソウとシラネアオイの群生を是非見学するよう勧められた。危険な場所ではないようなので皆さんの同意を得て向かった。コースから離れ15分程下るとルリ色のヤマドリソウの群生。急傾斜面にはシラネアオイ。素晴らしかった。見せたかった花が山頂の出会いで見ることができて運の良さに感謝。
- ・ 花の多い山である。花を楽しむのが目的なので歩行に十分な時間を組んだ。立ち止まったりしながらゆっくり歩いた。
- ・ このコースは緩やかではあるが結構長い。寄り道の往復もあり疲れたと思う。しかしペースダウンもなくほぼ予定時刻に無事下山できた。皆さんに感謝です。



荒倉山山頂 307m

# 花の荒倉山に参加して

1302 N.J.



実施される一週間前より天気予報が気になっていたが徐々に回復。当日は絶好の登山日より。定刻区役所出発、駅西口を經由今日の参加者二十名。亀田インターより日本海高速道へ途中から七号線。道の駅朝日でトイレ休憩。日本海を左手に道の駅温海で登山靴に履き替え一路ホテル八乙女前に到着。身支度を整え由良登山口に。

整備された緩やかな尾根道を登り、左に藤倉山右に八森山、温海岳。春の山道すべて緑、緑、濃淡の美しさに魅了。道沿いには可憐なヤマリソウ、シラネアオイ、白色で小さい花ニョイスメシ、イカリソウ等々花に囲まれ一時の安らぎ。林道の看板「里山あるき」を横目に展望台ホットハウスで休憩。ここからは白山島と日本海が一望。ニリンソウの群生地では花が一部残っていて見ることが出来た。



奇形のブナ



鳥海山



ヤマリソウ



山頂のシラネアオイ

鞍乗峠へ林道を抜けると目的地荒倉山へ。少し急登ですが木漏れ日の道沿いには、ヒトリシズカ(花はこれから)、小花の白いユキザサ、ひときわ目を引く奇形ブナの木、雪の鳥海山を右に仰ぎながら登頂。広々とした頂上で昼食。目の前にシラネアオイのピンク花見ながらの昼食最高!! 山頂での集合写真。出発寸前地元のご夫婦からヤマリソウの群生地があるからと教えていただき、チョット寄り道。分岐から左へ下っていくとヤマリソウの群落ロード。ルリ色一色。感激感激。



荒倉神社にて

登山口に戻り林道より荒倉神社

へ。西羽黒とも呼ばれるほど風格のある神社で、五穀や牛馬などの神が祭られているとの事。神社をバックに集合写真。急階段を降り、林道から遊歩道を登り下りを繰り返しながらホットハウス展望台へ、そして由良登山口に無事下山。最高の天気恵まれ珍しい奇形ブナの木、お花畑を満喫、最高の山行でした。

計画してくださったリーダー、サブリーダーはじめ皆様に感謝です。ありがとうございました。(来年も花の時期に計画してくださる事期待しております。)

